

久慈地方林業・木材産業事業体 新入社員集合研修

1 はじめに

今年度、久慈地方の林業・木材産業の事業体に、例年より多くの新入社員が入社しました。

新入社員の多くは高校や大学で林業を専攻していないことから、各社独自で実施している社員教育では、林業や木材産業の全般について学習する機会が少ないのが現状です。

そこで、久慈地方木材青壮年協議会（会長：熊谷 盛氏）では、地域の新入社員（入社後約3年未満）を集め、林業や木材産業の概要を勉強する集合研修を企画し、振興局職員が講義を行いました。

今回、その研修の概要について紹介します。

2 集合研修の概要

- (1) 主催：久慈地方木材青壮年協議会
- (2) 日時：平成28年4月20日 13:30～16:30
- (3) 場所：(有)マルヒ製材2階会議室
- (4) 参加事業体数：5
- (5) 受講者：17名（うち新入社員：13名）
- (6) 講師：県北広域振興局林務部 大橋一雄
- (7) 講義の内容

- ① 林業の概要：森の働き、人工林の現状、地域の特徴、森林整備、伐倒、被害等
- ② 木材の概要：自給率、心材・辺材、製材、乾燥、集成加工、木質材料、アカマツ利用上の問題点等

3 アンケート

講義の理解度や今後聞きたいテーマ等に関するアンケート結果を示します。

(1) 理解度

- 良く理解できた：6割
- ほぼ理解できた：4割

(2) 感想

- ・今後もこのような研修があれば良い。
- ・機会があればまた参加したい。
- ・他の分野についても知れて良かった。
- ・保安林などの説明もあった方が良かった。

(3) 今後聞きたいテーマ

- ・森林整備や木材利用のための施策
- ・バイオマスと久慈地方の状況

4 おわりに

受講者は真面目に聴講しており、学習意欲は非常に高いと感じました。

今回のような研修は、各社共通の悩みを解消するものであり、かつ社員の就業意欲向上にも繋がるため、有意義であると思います。

今後、振興局としても、このような業界の取り組みへの支援を継続していく予定です。



写真1 主催者挨拶



写真2 講義の様子